

学校法人 東北外語学園

令和6年度 事業報告

第1部 法人の概要

1. 当学園の設置する学校及びその他の事業（令和6年5月1日現在）

（設置する学校）

- （1）東北外語観光専門学校（昭和21年設立）
学校教育法第126条に定める専門学校
- （2）キャスウェルホテルアンドブライダル専門学校（平成29年設立）
学校教育法第126条に定める専門学校
- （3）日本国際学園大学利府おおぞら幼稚園（昭和56年設立）
学校教育法第1条に定める幼稚園
- （4）日本国際学園大学利府第二おおぞら幼稚園（平成2年設立）
学校教育法第1条に定める幼稚園
- （5）日本国際学園大学せいがん幼稚園（昭和56年設立）
学校教育法第1条に定める幼稚園
- （6）日本国際学園大学坪井幼稚園（平成20年設立）
学校教育法第1条に定める幼稚園

（附帯事業）

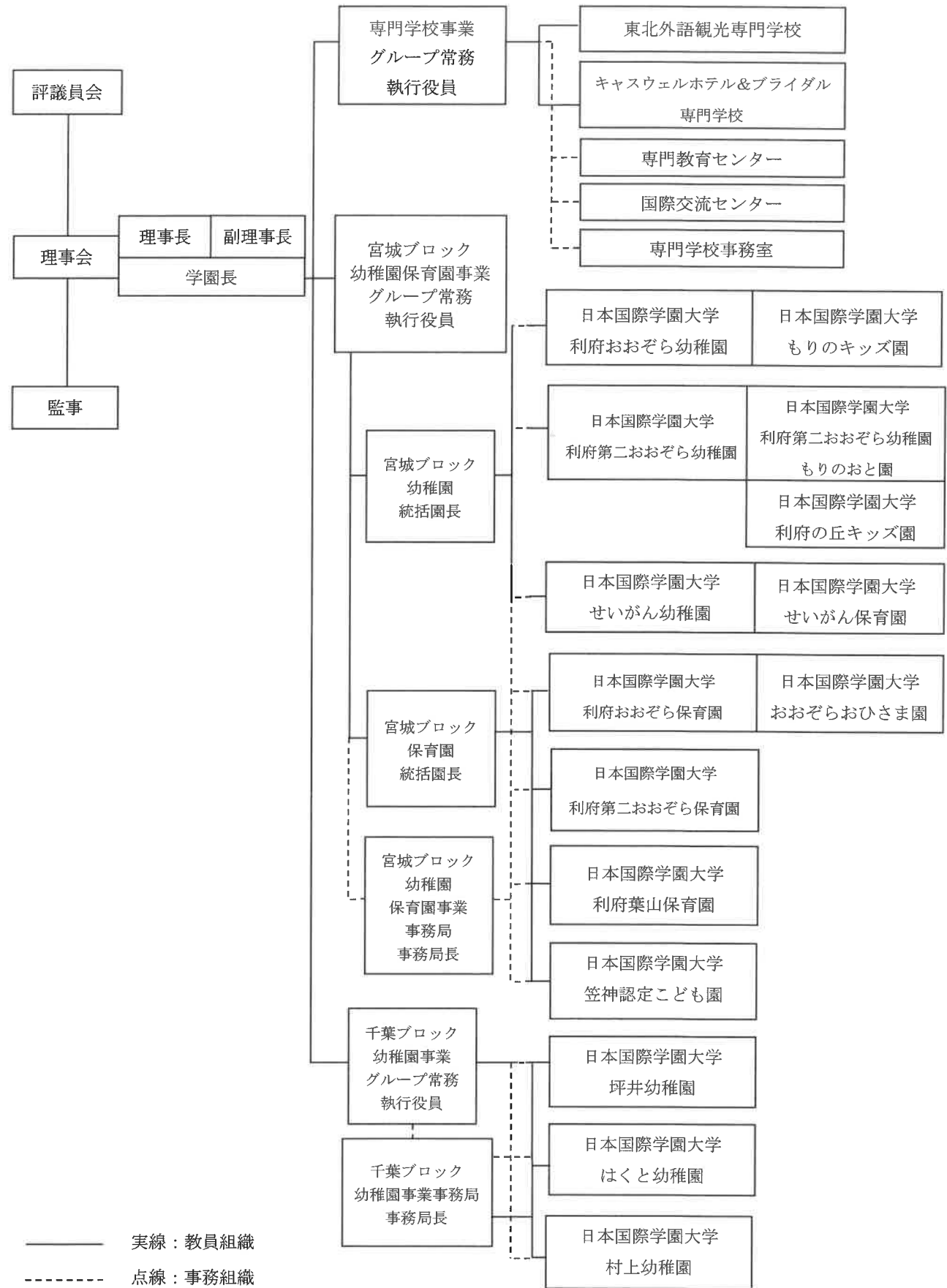
- （1）日本国際学園大学利府おおぞら保育園（平成19年設立）
児童福祉法第39条に定める保育所
- （2）日本国際学園大学利府葉山保育園（平成20年設立）
児童福祉法第39条に定める保育所、就学前の子どもに関する教育、保育等の総合的な提供の推進に関する法律第4条に定める保育所型認定こども園
- （3）日本国際学園大学利府第二おおぞら保育園（平成23年設立）
児童福祉法第39条に定める保育所
- （4）日本国際学園大学笠神認定こども園（平成31年度設立）
児童福祉法第39条に定める保育所、就学前の子どもに関する教育、保育等の総合的な提供の推進に関する法律第4条に定める保育所型認定こども園
- （5）日本国際学園大学おおぞらおひさま園（平成28年設立）
児童福祉法第6条の3に定める事業所内保育事業
- （6）日本国際学園大学もりのキッズ園（平成29年設立）
児童福祉法第59条の2に定める認可外保育施設（企業主導型保育事業助成施設）
- （7）日本国際学園大学せいがん保育園（平成29年設立）
児童福祉法第59条の2に定める認可外保育施設（企業主導型保育事業助成施設）
- （8）日本国際学園大学利府の丘キッズ園（平成30年設立）
児童福祉法第59条の2に定める認可外保育施設（企業主導型保育事業助成施設）

2. 沿革

昭和 21 年 11 月 18 日	八軒小路国民学校（現、八軒中学校）にて東北外国語学校創立。英語科予科、英語科速成科等設置
昭和 31 年 4 月	大学受験科及び高校補習科を設置
昭和 33 年 2 月	東北タイピスト養成所を併設
昭和 39 年 10 月	東三番町 20 番地（中央 4－2－25）を購入
昭和 40 年 12 月	東三番町校舎火災により全焼
昭和 41 年 3 月	本校舎（第一校舎）完成
昭和 42 年 4 月	秘書養成科（昼間 6 ヶ月コース）を新設
昭和 43 年 2 月	財団法人「東北外国語学校」認可
昭和 43 年 11 月	第二校舎完成（鉄筋 4 階建て）
昭和 44 年 4 月	英語科本科を昼間、修学期間 1 年に変更
昭和 47 年 12 月	日吉ビルに東北タイピスト養成所を移転
昭和 51 年 6 月	専修学校法の制定により、東北外国語学校を東北外国語専門学校と改称
昭和 55 年 10 月	学校法人東方学園設置認可
昭和 56 年 4 月	利府おおぞら幼稚園開園
昭和 61 年 9 月	岩崎厨房ビル（仙台市五橋 2 丁目 1-13）を取得
昭和 63 年 3 月	ゼネラル電気より東二番町校地及び校舎を取得
平成 2 年 4 月	利府第二おおぞら幼稚園開園 東北外国語専門学校が財団法人日本語教育振興協会より日本語教育施設（定員 120 名）として認定 学生寮コーポラス米ヶ袋、コーポラス土樋新築
平成 4 年 8 月	五橋校舎（現、東北外語学園 1 号館）新築
平成 7 年 3 月	東北外国語専門学校 2 年課程卒業生に専門士の称号が付与
平成 7 年 4 月	学校法人東北外語学園へ名称変更 東北外国語専門学校の設置者を学校法人東北外語学園に変更
平成 8 年 3 月	東北外国語専門学校が初めての語学研修をカリフォルニア大学リバーサイド校にて実施
平成 8 年 10 月 18 日	創立 50 周年記念式典
平成 11 年 2 月	第 1 回同窓会総会
平成 12 年 4 月	専門課程卒業生の大学編入が可能となり、東北外国語専門学校卒業生 2 名が大学へ編入
平成 15 年 1 月	東北外語トラベルセンター開業
平成 15 年 4 月	東北外国語専門学校英語科本科を英語科へ改称
平成 18 年 4 月	東北外国語専門学校に国際観光科を設置
平成 19 年 3 月	利府おおぞら幼稚園新園舎新築
平成 19 年 4 月	東北外語学園 2 号館新築
平成 19 年 5 月	利府おおぞら保育園開園
平成 20 年 4 月	利府葉山保育園開園
平成 22 年 4 月	東北外国語専門学校を東北外語観光専門学校に名称変更
平成 23 年 4 月	利府第二おおぞら保育園開園。利府第二おおぞら幼稚園及び利府第二おおぞら保育園が幼保連携型認定こども園しらかし台こども園として宮城県知事の認定を受ける
平成 27 年 3 月	幼保連携型認定こども園しらかし台こども園を廃止する
平成 27 年 4 月	せいがん幼稚園の設置者を学校法人高橋学園から学校法人東北外語学園に変更し設置者となる

平成 28 年 4 月	利府葉山保育園が保育所型認定こども園「認定こども園利府葉山保育園」として宮城県知事の認定を受ける 「おおぞらおひさま園」開園
平成 29 年 4 月	キャスウェルホテル&ブライダル専門学校開校、利府おおぞら幼稚園付属保育施設「もりの保育園」、せいがん幼稚園付属保育施設「せいがん保育園」開園
平成 30 年 4 月	もりの保育園の名称を「もりのキッズ園」に変更、利府第二おおぞら幼稚園付属保育施設「利府の丘キッズ園」開園
平成 31 年 4 月	多賀城市公立保育所の民営化に伴い、笠神保育所を開所する
令和 2 年 4 月	坪井幼稚園の設置者を学校法人清麗学園から学校法人東北外語学園に変更し設置者となる
令和 3 年 4 月	笠神保育所が保育所型認定こども園「笠神認定こども園」として宮城県知事の認定を受ける
令和 3 年 7 月	東北外語トラベルセンター閉業
令和 4 年 4 月	せいがん幼稚園が幼稚園型認定こども園「せいがん幼稚園」として宮城県知事の認定を受ける 「利府第二おおぞら幼稚園分園もりのおと園」開園
令和 5 年 4 月	令和 6 年 4 月日本国際学園大学開学に向けて、幼稚園及び保育園を名称変更する（利府おおぞら幼稚園から日本国際学園大学利府おおぞら幼稚園、利府第二おおぞら幼稚園から日本国際学園大学利府第二おおぞら幼稚園、利府第二おおぞら幼稚園もりのおと園から日本国際学園大学利府第二おおぞら幼稚園もりのおと園、せいがん幼稚園から日本国際学園大学せいがん幼稚園、坪井幼稚園から日本国際学園大学坪井幼稚園、利府おおぞら保育園から日本国際学園大学利府おおぞら保育園、利府葉山保育園から日本国際学園大学利府葉山保育園、利府第二おおぞら保育園から日本国際学園大学利府第二おおぞら保育園、笠神認定こども園から日本国際学園大学笠神認定こども園、おおぞらおひさま園から日本国際学園大学おおぞらおひさま園、もりのキッズ園から日本国際学園大学もりのキッズ園、せいがん保育園から日本国際学園大学せいがん保育園、利府の丘キッズ園から日本国際学園大学利府の丘キッズ園に名称変更） 日本国際学園大学利府第二おおぞら幼稚園が幼稚園型認定こども園「日本国際学園大学利府第二おおぞら幼稚園」として宮城県知事の認定を受ける。
令和 7 年 4 月	東北外語観光専門学校を日本国際学園大学東北外語ビジネス専門学校に名称変更 キャスウェルホテルアンドブライダル専門学校を日本国際学園大学キャスウェル外語・エアライン・ホテル&ブライダル専門学校に名称変更

3. 組織（令和6年度）



第2部 事業報告

令和7年度より、東北外語観光専門学校、キャスウェルホテル&ブライダル専門学校両校とも校名の変更が行われ、さらに、キャスウェルホテル&ブライダル専門学校では、ホテル学科に加えて、新学科としてエアライン学科・グローバルコミュニケーション学科が新設されることになり、令和6年度は新校名、新学科の認知度を上げるため積極的な広報活動が行われた。また、重要案件の報告、共有、検討、決定を行うため、法人委員会、人事委員会、施設整備委員会、教育・校務委員会、広報委員会が設けられた。

宮城ブロック幼稚園保育園事業では、今後の幼稚園・保育園事業の在り方を審議する「将来構想委員会」、園運営の長期的な強化を目指す「人事委員会」、保育者が共感し主体的に取り組める保育の実現に向けた「職場づくり委員会」という3つの委員会を設置し、より良い学園づくりのための改善を行った。

千葉ブロック幼稚園事業において、坪井幼稚園は安定的な収入の確保を図るため、ワークショップを開催して新制度への移行について協議を行い、令和7年度から施設型給付の対象となる幼稚園となるべく、船橋市へ届出を行った。

1. 東北外語観光専門学校・キャスウェルホテル&ブライダル専門学校

東北外語観光専門学校の令和6年度入学者数は、英語科14名、エアライン科13名、ビジネスデザイン科13名、日本語科は32名、国際総合ビジネス科は51名、合計123名であった。日本語科には10月生として39名が入学した。

英語科、エアライン科及びビジネスデザイン科については、令和6年度入学生が最後の入学生となった。国際総合ビジネス科については、令和5年度生の募集を行わなかったため、在籍学生は1年生のみであり、卒業生のない年となった。令和7年度からは、英語科は日本国際学園大学キャスウェル外語エアライン・ホテル&ブライダル専門学校に新設されるグローバルコミュニケーション学科の「英語コース」として、また、エアライン科は同校の「エアライン学科」として引き継がれることになった。

キャスウェルホテル&ブライダル専門学校の入学者数は27名で、開校以来最多の人数となった。27名中男子学生は10名で、これまでで過去最高の比率であった。

進路・就職状況については、日本人学生の就職率は92%（37名/40名）、留学生（日本語科）の進路決定率は100%（72名/72名）であった。

両校とも、授業、各種研修、行事等、すべて予定通り実施された。

大学編入については、令和5年度は12名であったが、令和6年度は0名であった。

施設面については、年次計画で1号館の改修・改装を行ってきたが、令和6年度は、3・5・6階の廊下及び全室を改装し、机・椅子も新しいものに入れ替えた。その結果、1号館の全フロアの改装が完了した。また、ネット環境については、全館でのWi-fi利用が可能となり、改善が図られた。

2. 日本国際学園大学利府おおぞら幼稚園

令和6年度新入園児数は60名。もりのキッズ園からの継続や親子学級からの入園も多く、満3歳児24名、3歳児57名、4歳児59名、5歳児59名の計199名となった。

子育て支援活動では、定期的に子育て事業の説明会を実施。保護者の求めている支援を明確にし、参加する事業を選択してもらうようにした。5月、8月にはイベントを開催して認知度を上げ、園に足を運ぶきっかけを作った。

幼稚園運営面では給食提供回数選択制の導入や預かり保育利用者への給食提供を開始。中学生の職場体験の受け入れや隣接する小学校との交流を積極的に行った。

設備面では、休憩室の整備を行い、職員が休憩時間を確保し、心身ともにリフレッシュを図る環境を整えた。

3. 日本国際学園大学利府第二おおぞら幼稚園

令和5年度より幼稚園型認定こども園へ以降して2年目が経過した。

令和6年度の園児数は最終的に満3歳時2名、3歳児12名、4歳児14名、5歳児14名の合計42名であった。3歳児は利府の丘キッズ園からの継続・在園児の弟妹の入園の他に新規の入園が4名いた。また年度途中には4歳児に2名の入園があった。

子育て支援では、前年度からの継続・在園児弟妹の参加の他に、育休中の職員の紹介による登録者があり、特に0歳児では合計22名の登録があった。子育て支援の内容では、制作活動や給食試食会が大変好評だった。

インスタグラムには園の特色である「自園給食」を前面に打ち出し、毎日メニューを公開して保護者より好評をいただいた。普段の保育の様子も食育活動を中心に取り上げて掲載した。

4. 日本国際学園大学利府第二おおぞら幼稚園もりのおと園

令和5年4月に幼稚園型認定こども園に移行してから1年。英語、体操、食農を三つの柱とする教育を展開している。グレープシードでは卒園後6名が継続し、今後更に学習効果が期待される。

体操は2歳児毎日クラスからの基礎の積み上げ効果で、年長の体操発表においては技の正確性や全体の統一感が出てきた。なにより普段の指導から人の話を聞く姿勢が身に付き元気に挨拶ができるようになった。食農では、花や野菜、果物の混合栽培（ポタジェ）を通し、栽培から収穫、食を通して関心が深まっている。アフタースクールでは独自のカリキュラムを体系化させ、異年齢交流を深めながら教育に取り組んでいる。

令和6年度の最終的な園児数は満3歳12名、3歳児22名、4歳19名、5歳児19名合計72名（2号10名含む）であった。

子育て支援においてはママカフェ、イベント、1歳児親子学級、入園準備クラス（2歳）を設け、幅広い未就園児が参加できる活動を目指した。

5. 日本国際学園大学せいがん幼稚園

幼稚園型認定こども園へ移行し令和6年度で3年となった。

園児数は2歳児満3歳児17名、3歳児41名（うちせいがん保育園から15名、プレ幼稚園から3名園）、4歳児49名、5歳児51名で158名となった。3歳児の弟妹以外の新規入園は13名だった。

ヨコミネ式教育を行っている園として高く評価を得ており、年間カリキュラムを基に園児一人一人に目標を持たせ、達成につなげていく指導を徹底して行った。（令和6年度はヨコミネ式教育に関心のある見学者が多く、それが満3歳児クラスの入園数にも影響したと考える。）

保育者の資質向上の一環としてヨコミネ式オンライン研修（体操と音楽）を定期的実施し、指導法を学び研鑽に努めた。

満3歳児クラスの預かり保育の本格的に導入し、共働き世帯の支援を積極的に行った。

子育て支援はママカフェを新規で実施、毎回満席となり好評を得た。親子学級等の活動では専任の担当者が様々な企画で運営し、園開放では0歳児の参加や新規の参加者が増えた。

園舎が建設より20年以上経過し、不具合や修繕を要する箇所が出てきている。小さな修繕箇所はその都度対処してきたが、大規模な修繕の必要もあり継続して対策をしていく。

6. 日本国際学園大学坪井幼稚園

園児数は年度途中の転入園もあり、3歳児71名、4歳児76名、5歳児69名の計216名、未就園児クラスは58名だった。

子育て支援活動については、従来から行っていた園庭開放や季節ごとのイベントに加えて、0歳児を対象とした体験保育を開催することで、年齢に合った遊びを提供すると共に園の認知度向上に努めた。

また、園の畑で行う収穫体験は毎回定員に達し、参加者から好評だった。

施設設備面では、バス乗車の際利用する階段に安全面を考慮し、手すりを取り付けた。8月には2階会議室を子育て支援室等として改修工事を行った。

7. 日本国際学園大学利府おおぞら保育園

園児数は0歳児6名、1歳児6名、2歳児9名、3歳児13名、4歳児14名、5歳児14名の計62名、新入園児数は15名であった。子育て支援として、園開放「おおぞら広場」を積極的に行いSNSやチラシの活用にも力を入れ、地域の方に園を知っていただく機会とした。「大きく育て心のねっこ」「ネイチャー×カルチャー×アドベンチャー」と園の特色を打ち出し、大自然の中での保育や英会話あそびやコスモ体操教室（正課、課外）を導入している。

8. 日本国際学園大学おおぞらおひさま園

昨年に引き続き、日本国際学園大学利府おおぞら保育園と連携を取りながら保育を行った。園児数は、1歳児4名、2歳児3名の計7名（うち従業員枠1歳児1名）、新入園児数は4名であった。

9. 日本国際学園大学利府葉山保育園

園児数は、令和6年5月1日時点で0歳児0名、1歳児5名、2歳児14名、3歳児9名、4歳児15名、5歳児15名の計58名であった。

未就園児親子を対象とした事業「にこにこ広場」は繰り返し参加して下さる方が、少しずつ増えた。また、はじめての試みであった「ベビーマッサージ」も好評で、終了後の保護者のおしゃべりの場としても喜んでいただけた。参加者は利府町内だけではなく隣の松島町からの方もいるので、更に増やしていけるように広報の仕方について考えている。

10. 日本国際学園大学利府第二おおぞら保育園

園児数は0歳児1名、1歳児8名、2歳児6名、3歳児7名、4歳児12名、5歳児16名の計50名で新入園児数は5名であった。年度途中に0歳児1名が入園、1・2歳児各1名の退園があった。園児数の減少や保育者の配置状況により、令和6年度から利用定員を60名から50名に変更した。

外部講師による体操教室、英語あそびは毎年好評である。英語あそびは、講師の変更により活動内容も変わったが、利府第二おおぞら幼稚園と年齢ごとに一緒に行うことで園児の交流が増えている。

子育て支援では園開放や給食試食会、土曜日の受け入れを行ったが、なかなか集客は難しかった。インスタグラムの更新には、引き続き力を入れ、園の魅力発信に努めた。

園舎の老朽化がみられるが、こども園への移行による建て替えを見据え、大規模な修繕は控えている。

11. 日本国際学園大学笠神認定こども園

令和6年度の園児数は、0歳児5名、1歳児12名、2歳児14名、3歳児19名（1号6名）、4歳児18名（1号1名）、5歳児19名（1号2名）の計87名（1号児9名、2号3号78名）であった。う

ち新入園児は 16 名。年度途中で 0 歳児 1 名、満 3 歳が 4 名入園し最終人数は 93 名となる。

子育て支援活動として、毎週 1 回予約制（定員 10 名）の「はなちゃん広場」を実施し、新しく月 1 回 1 歳までの乳児と保護者向けのベビーサロン（定員 5 名）を開催した。他月に 1、2 回マッキールーム開放 DAY 及び月～土曜日の園庭開放を行った。「はなちゃん広場」では給食試食やティータイムの時間をとり、お茶を飲みながら参加者がゆっくりとお話ができると大変好評だった。リピーターが多く、毎回定員いっぱい、新規の参加者の取り込みに苦労した。

園庭の果樹が 3 年目でたくさんの実をつけ、特にぶどうは豊作で地域の方からも声をかけられるくらいの反響だった。また、KHB の「ナマイキテレビ」や宮城テレビ「保護者の保育士体験」で当園が紹介された。

12. 日本国際学園大学もりのキッズ園

園児数は、1 歳児 14 名、2 歳児 19 名の計 33 名。新入園児は 16 名で、幼稚園児の弟妹や職員卒のほか、利府町以外からの入園も見られた。

子育て支援では、0、1 歳児対象の一時預かり「ママほっと」を開始。モニター期間を作り、登録者を少しずつ増やしていった。定期的に子育て応援の説明会を開催。保護者の求めている支援を明確にして、参加する事業を選択してもらうようにした。

5 月、8 月にはイベントを開催し認知度を上げ、園に足を運ぶきっかけを作った。

設備面では、休憩室の整備を行い、職員が休憩時間を確保し、心身ともにリフレッシュを図る環境を整えた。

13. 日本国際学園大学せいがん保育園

ヨコミネ式教育を行っている園として評価を得ており、弟妹の入園児にとってはそれが魅力となっている。園児数は途中入園も含め 12 名（弟妹 6 名）であった。

担当保育士は研修でヨコミネ式の 2 歳児の指導法を学び、共有を図って保育にあたった。また、幼稚園の 2 歳児・満 3 歳児クラスとの合同保育を積極的に行い、活動内容の統一を図るなど、教育保育の一貫性を保つようにした。

子育て支援として 0、1 歳児の一時預かり「ママほっと」を新事業として開始。定着した利用があった。3 歳以上児の一時預かりは利用者数が増えた。

14. 日本国際学園大学利府の丘キッズ園

園児数は、1 歳児 6 名、2 歳児 3 名の計 9 名。新入園児は 6 名の入園となった。

昨年度は子育て支援事業の対象年齢を 0 歳児からに拡充した結果、1 歳児は定員である 6 名を確保することができた。さらに 1 歳児には次年度に追加で 1 名が入る予定である。（結果次年度 2 歳児 7 名の予定）

令和 6 年度より東北外語学園版の「子ども誰でも通園制度」である「ままほっと」（一時預かり）事業をキッズ園として行った。登録者は 0 歳児 2 名、1 歳児 3 名（定員はそれぞれ 3 名）。次年度も継続して行っていく。このノウハウを活用して令和 8 年度に本格実施の「子ども誰でも通園制度」の実施につなげていきたい。

事業活動収支計算書

令和6年 4月 1日から
令和7年 3月 31日まで

学校法人東北外語学園
(単位 円)

		科目	予 算 額	決 算 額	差 異	摘要
教育活動収支	事業活動収入の部	学生生徒等納付金	471,145,000	478,120,495	6,975,495	
		手数料	2,922,000	2,964,789	42,789	
		寄付金	0	0	0	
		経常費等補助金	371,264,000	399,329,891	28,065,891	
		付随事業収入	578,267,000	633,392,526	55,125,526	
		雑収入	22,274,000	20,090,970	-2,183,030	
		教育活動収入計	1,445,872,000	1,533,898,671	88,026,671	
	事業活動支出の部	人件費	801,306,000	903,044,553	101,738,553	
		教育研究経費	251,534,000	245,455,207	-6,078,793	
		管理経費	372,636,000	328,711,175	-43,924,825	
徴収不能額等		0	0	0		
	教育活動支出計	1,425,476,000	1,477,210,935	51,734,935		
	教育活動収支差額	20,396,000	56,687,736	36,291,736		
教育活動外収支	事業活動収入の部	科目	予 算 額	決 算 額	差 異	摘要
		受取利息・配当金	780,000	981,408	201,408	
		教育活動外収入計	780,000	981,408	201,408	
	事業活動支出の部	借入金等利息	3,974,000	3,667,063	-306,937	
		その他の教育活動外支出	0	0	0	
		教育活動外支出計	3,974,000	3,667,063	-306,937	
		教育活動外収支差額	-3,194,000	-2,685,655	508,345	
経常収支差額		17,202,000	54,002,081	36,800,081		
特別収支	事業活動収入の部	科目	予 算 額	決 算 額	差 異	摘要
		資産売却差額	0	278,280	278,280	
		その他の特別収入	0	4,346,599	4,346,599	
		特別収入計	0	4,624,879	4,624,879	
	事業活動支出の部	資産処分差額	0	406,983	406,983	
		その他の特別支出	0	1,680,065	1,680,065	
		特別支出計	0	2,087,048	2,087,048	
特別収支差額		0	2,537,831	2,537,831		
[予 備 費]		42,195,000	/	0		
基本金組入前当年度収支差額		-24,993,000	56,539,912	81,532,912		
基本金組入額合計		0	-117,210,792	-117,210,792		
当年度収支差額		-24,993,000	-60,670,880	-35,677,880		
前年度繰越収支差額		0	-808,849,350	-808,849,350		
基本金取崩額		0	2,601,005	2,601,005		
翌年度繰越収支差額		-24,993,000	-866,919,225	-841,926,225		
(参 考)						
事業活動収入計		1,446,652,000	1,539,504,958	92,852,958		
事業活動支出計		1,471,645,000	1,482,965,046	11,320,046		

貸借対照表

令和 7 年 3 月 3 1 日

学校法人 東北外語学園
(単位 円)

科目	本年度末	前年度末	増減
資産の部			
固定資産	4,488,746,109	4,594,262,905	-105,516,796
有形 固定 資産	4,115,141,118	4,243,096,783	-127,955,665
土 地	1,711,696,204	1,711,696,204	0
建 物	2,137,172,165	2,238,395,841	-101,223,676
教育研究用機器備品	23,138,672	28,294,213	-5,155,541
その他の有形固定資産	243,134,077	264,710,525	-21,576,448
特 定 資 産	291,816,988	267,764,908	24,052,080
有 価 証 券	63,408,694	63,408,694	0
その他の固定資産	18,379,309	19,992,520	-1,613,211
流動資産	1,103,090,773	1,051,044,312	52,046,461
現 金 預 金	1,041,114,146	963,392,254	77,721,892
その他の流動資産	61,976,627	87,652,058	-25,675,431
資産の部合計	5,591,836,882	5,645,307,217	-53,470,335
負債の部			
固定負債	452,502,746	523,885,528	-71,382,782
退職給与引当金	35,866,746	23,917,528	11,949,218
長期借入金	416,636,000	499,968,000	-83,332,000
流動負債	425,279,711	463,907,176	-38,627,465
前 受 金	216,730,171	209,054,229	7,675,942
短期借入金	83,332,000	107,332,000	-24,000,000
未 払 金	45,269,667	68,074,504	-22,804,837
その他の流動負債	79,947,873	79,446,443	501,430
負債の部合計	877,782,457	987,792,704	-110,010,247
純資産の部			
基本金	5,580,428,950	5,465,819,163	114,609,787
第 1 号 基本金	5,580,428,950	5,465,819,163	114,609,787
第 2 号 基本金	0	0	0
繰越収支差額	-866,374,525	-808,304,650	-58,069,875
元入金	3,837,601	3,837,601	0
翌年度繰越収支差額	-870,212,126	-812,142,251	-58,069,875
純資産の部合計	4,714,054,425	4,657,514,513	56,539,912
負債及び純資産の部合計	5,591,836,882	5,645,307,217	-53,470,335

財産目録

令和7年3月31日

学校法人東北外語学園

(単位:円)

科目	残高
一 資産額	
(一) 基本財産	4,115,141,118
1 土地	1,711,696,204
2 建物	2,137,172,165
3 教育研究用機器備品	23,138,672
4 その他	243,134,077
(二) 運用財産	1,472,858,163
1 現金預金	1,041,114,146
2 その他	431,744,017
(三) 収益事業用財産	3,292,901
合計	5,591,292,182
二 負債額	
(一) 固定負債	452,502,746
1 退職給与引当金	35,866,746
2 その他の固定負債	416,636,000
(二) 流動負債	425,279,711
1 前受金	216,730,171
2 その他の流動負債	208,549,540
合計	877,782,457

(注) ・基本財産:学校法人の設置する私立学校の経営に必要な施設及び設備又はこれらに要する資金

・運用財産:学校法人の設置する私立学校の経営に必要な財産

・収益事業用財産:収益を目的とする事業に必要な財産

監査報告書

令和7年5月23日

学校法人東北外語学園
理 事 会 御 中
評 議 員 会 御 中

学校法人東北外語学園

監事 山本 宣生 

監事 岸 明彦 

私たちは、学校法人東北外語学園の監事として、私立学校法第52条第3項に基づいて同学園の令和6年度（令和6年4月1日から令和7年3月31日まで）における財産目録及び計算書類（貸借対照表、資金収支計算書及び事業活動収支計算書）を含め、学校法人の業務及び財産に関し監査を行いました。

監査の結果、私たちは、学校法人の業務及び財産に関する不正な行為又は法令若しくは寄附行為に違反する重大な事実がないことを認めました。

以 上